

2008年6月14日岩手・宮城内陸地震 被害調査報告

秋田県立大学 西田哲也 ハザリカ ヘマンタ
寺本尚史 小幡昭彦

1. 調査の概要

2008年6月14日午前8時43分に発生した岩手県内陸部を震源とする地震(M=7.2)被害について、秋田県湯沢市周辺の被害調査を行った。

2. 調査行程

6月15日(日)

9:30 頃 秋田県立大学本荘キャンパス出発
11:30 頃 湯沢市役所(情報収集)
12:45 頃 湯沢市皆瀬若畑地区(水田液状化)
15:00 頃 湯沢市皆瀬ダム
16:00 頃 湯沢市湯沢高校稲川分校(被害なし)
17:00 頃 横手市山内小学校(体育館天井一部落下)

3. 各調査地点の被害状況

1) 湯沢市皆瀬若畑地区

- ・ 水田に液状化現象が発生との湯沢市役所および新聞からの情報。
- ・ 調査場所は山間部の盆地。(写真1)
- ・ 液状化現象により水田の稲が浮き上がっている。(写真2)
- ・ 農業用水路の足場ブロックが転落。(写真3)
- ・ 農業用水路の底より周辺と異なった土質の土が湧き出ている。(写真4)
- ・ 休耕地に地割れが発生している。(写真5)



(写真1)



(写真2)



(写真 3)



(写真 4)



(写真 5)

2) 湯沢市皆瀬ダム

- ・ 湯沢市 HP より皆瀬ダム上道路破損の情報。
- ・ 全景。(写真 6)
- ・ ダム水門部分と堤石部分との境目に段差が発生(写真 7), 段差の最大高さ約 200mm, 最大幅約 160mm。(写真 8,9)
- ・ ダム下流域に土砂崩れが発生, 重機が下りており, 復旧作業が開始されていた。(写真 10)



(写真 6)



(写真 7)



(写真 8)



(写真 9)



(写真 10)

3) 湯沢高校稲川分校

- ・ 渡り廊下、シャッターなどに被害と新聞より情報、16日休校となっている。
- ・ 丘陵地の一角に建てられた木造2階建ての公舎(写真 11) および鉄骨造の体育館。

(写真 12)

- 木造校舎の外部を1周したが、被害は見当たらなかった。(写真 13)
- 体育館は柱2階床レベル水平方向にひび割れ。(写真 14)
- 山形鋼ブレースは無被害。座屈などの形跡なし。(写真 15)
- その他、軽微なひび割れが数箇所確認された。



(写真 11)



(写真 12)



(写真 13)



(写真 14)



(写真 15)

4) 横手市山内小学校

- TV等で、体育館の天井パネルが18枚落下したと報道された小学校。(写真16, 17)
- 体育館天井の様子。落下しかかっているパネルも見られる。外部から天井パネルの落下状況を撮ったが暗くて分かりにくい写真となった。(写真18, 19)
- 外壁の一部にひび割れが見られたものの、大きな被害は見られなかった(写真20)。



写真16 山内小学校体育館



写真17 同小学校正面



写真18 体育館外観



写真19 体育館天井パネルの様子



写真20 外壁のひび割れの様子。壁の右側(柱に近い部分)に縦ひび割れが生じている(柱のひび割れは今回の地震で生じたものではない模様)

4. 調査マップ



5. まとめ

今回、震度 5 強の揺れを記録した湯沢市を中心に調査を行った。建物の被害としては横手市の山内小学校体育館の天井パネル落下、湯沢市内での木造家屋の外壁の剥落等がみられたが、調査した時点、および移動中の車内から見る限り、地震による被害を受けた建物は軽微なものを含めてごく僅かであり、全体的には被害を受けた建物は殆ど見られなかった。

(作成 小幡、寺本)